

令和6年度
児童施設課程〈基礎コースⅠ〉

施設職員としての 専門性の意味 を理解する

5月16日(木)・17日(金)

&フォローアップ研修
+人権研修(必須)

会場：大阪社会福祉指導センター
4階研修室1

定員 30名程度(原則 1施設1名)

参加費 10,000円

(フォローアップ研修及び人権研修受講料含む)

申込締切 4月19日(金)

児童福祉の現状や施設職員としての在り方、基礎知識を学ぶことで、新任職員としての役割の把握や施設職員としての意識向上を図り、現場での実践につながる学びを得ることを目的としています。また、新任職員同士の交流を深める機会にもなります。

施設職員としての自覚と責任を再確認することができ、子どもの最善の利益の尊重を忘れずに子どもたちと生活していこうと思いました。

※R5研修アンケートより

いろんな分野のお話を聞くことができ、実際の仕事に活かせることがたくさん見つけられました。



研修プログラム

1日目 9:50~17:00

「子どもの権利擁護と身に付けてほしい
基礎知識」

常磐会短期大学学長 農野寛治氏

「児童福祉施設の現状と期待される
職員像」

児童養護施設高鷲学園施設長
岡出多申氏

「児童福祉施設における子どもたちの日々の生活と養育について」

児童養護施設東光学園施設長
大久保正彦氏

「先輩職員が語る児童福祉施設の仕事・働きがい」 先輩職員2名

2日目 10:00~16:30

「子ども家庭センターの役割と
児童福祉施設との関わり」

大阪府中央子ども家庭センター

「施設職員・社会人としての心構え」
広島国際大学健康科学部医療福祉学科
教授 岡本晴美氏

「児童施設職員としての
これからの考える」

岡本晴美氏 ・ 先輩職員2名

フォローアップ研修
(R7.2実施予定、詳細後日)

9か月後に振り返りの機会となるフォローアップ研修を今回の研修と同じメンバーで実施します。

申込はこちら

研修申込みされる皆様へ

大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター 研修グループ

研修にお申込みされるにあたってのお願い

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループでは、引き続き安心して皆様にご受講いただける環境を整えてまいります。研修申込みされる皆様におかれましてもご協力くださいますようお願い申し上げます。

■安心できる受講環境のために

- ・各事業所におきましても、引き続きの感染対策をされていることと存じます。
お互いに安心して研修に受講できるように、各自で感染対策をお願いいたします。
- ・本センターとしては、会場入口に消毒液を設置しておりますので、適宜ご利用ください。
また、休憩時等、定期的な換気を行います。
- ・ゴミは、各自お持ち帰りいただきます。

なお、地震・台風など自然災害等により、やむを得ず研修を中止または延期させていただく場合がございます。中止または延期の場合は、速やかにご連絡させていただきます。

